

## 事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	スマートインターチェンジ整備事業			コード	141104	
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	都市計画課	作成者	白田 研一
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち			
		政策	計画的土地利用の推進	施策	住宅・宅地の整備	
		予算科目	スマートインターチェンジ整備事業費	業務委託	一部委託	
		実施義務	その他（内部事務等）	国県補助	なし	
		根拠法令	道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律			

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	スマートICの導入により、並行する一般道路の渋滞緩和や環境改善、地域の活性化などの効果が期待できるため、諏訪湖サービスエリアへのスマートIC整備の可能性を諏訪市と協同で調査、検討する。		
目的	対象者	市民、道路利用者	
	意図	一般道路の渋滞緩和や環境改善、地域の活性化、経済効果、物流の効率化	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	平成24年度実施のスマートIC基礎調査の結果、諏訪湖SAに整備した場合の費用便益（B/C）と採算性（I/C）は、大型車・普通車のいずれも整備効果が期待できるが、諏訪湖SAへのアクセス道路とインターチェンジの形状と料金所の位置選定については、周辺が急峻なため、形状・位置選定で安全性、技術面・採算性、地元合意の点で課題を残す。 このため、国、県、地元、中日本高速道路（株）等と課題解決のため協議、検討を行った。		
前年度の課題への対応	特になし。		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
区分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 直接事業費	0	0	62,340	2,650,000	
経常経費			0	0	
臨時的経費			62,340	2,650,000	
* 臨時的経費の説明					
② 人件費	0	0	800,000	1,200,000	
正規職員の人数（人）			0.10	0.15	
③ 合計コスト（①+②）	0	0	862,340	3,850,000	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	446.5%	
財源	0	0	862,340	3,850,000	
内訳			0	0	
* 特定財源の説明					
④ コストに関する補足説明					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	#DIV/0!	#DIV/0!	0.00%	0.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 特になし
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 特になし
改善方法	
改善開始時期	

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	--	---